

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		ことば教育推進事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	末永 舞
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	関 嘉晋
	業務分野	31	学力の向上、徳育・体育の推進		所属班	学務指導班	(内線)	5323
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 3	事業連番 11582	法令根拠	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	平成22年12月市民提案による認定第1号の事業として、美しいことばに触れることを通じて日本人としての感性を磨き、日本や郷土である合志の文化や伝統を大切にし、夢の実現を目指すこどもを育てることを目標とする。 ・ことばの専門家(元アナウンサー)による小中学校訪問授業 ・ことのは作品コンクールの作品募集及び審査(合志市内小中学校児童生徒対象) ・ことのは作品コンクール受賞作表彰式
【業務の流れ】	学校生活の様々な場面で「ことば」を意識した教育活動を実践していく。
【主な予算費目】	報償費、需用費

(1)事務事業の振り返り・計画
 ①6年度事務事業の成果・実績
 児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育むための専門家(元アナウンサー)による授業及びその成果発表の場として、ことのは作品コンクールを実施した。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容) ③予算の主な増減の理由
 児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育むための専門家(元アナウンサー)による授業及びその成果発表の場として、ことのは作品コンクールを実施する。

成果指標	(単位)	データ取得方法
ことのは作品コンクールに取り組んだ児童生徒の割合	%	作品を出品した児童生徒数÷全児童生徒数

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	%		0	0	70	67.9	70	75	75	75
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	303	644	852	681	850	850	850	850
	(A)事業費計	千円	303	644	852	681	850	850	850	850

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
 ことばの専門家(元アナウンサー)による小中学校での「ことば教室」や、各校が取り組む「ことば教育」の実践により美しいことばや発声を意識した教育に取り組むことができています。「ことのは作品コンクール」は、全校から5,080人、9,711作品もの応募があり、市内小中学校における豊かな心や表現力の育成につながっている。令和7年度では児童生徒への周知を幅広く行い、目標の達成を行う。

(4)今後の事業の方向性
廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)